

# 北東アジアにおける核テロリズムの脅威

核テロリズムの脅威は国際安全保障の最重要課題の一つです。

ここ、北東アジアにおける核テロリズムの脅威、特に原子力関連施設へのテロの脅威について、米・中・韓・日の専門家がその実態と対応策について議論を行います。



## 基調講演

### 『原子力発電施設へのテロ攻撃とその防止について』

◎マーサ・クレンショー

スタンフォード大学、フリーマン・スポルギョ国際問題研究所、国際安全保障と協力センター、上級フェロー（米国）

テロリズム研究における国際的権威で、「国際安全保障における女性」の理事、および国際政治心理学会の元理事、および会長。

同時通訳付

入場無料

事前申し込み不要

## パネリスト

ユンスー・ハング

韓国原子力研究所、  
主席研究員（韓国）



板橋 功

公益財団法人 公共政策調査会  
研究センター長（日本）



フィ・ジャン

ハーバード大学ケネディスクール  
上級研究員（中国）



ピーター・ヘイズ

ノーチラス研究所（米国）



モデレーター

鈴木 達治郎

RECNA  
センター長 教授



2017年 1月23日

時間：18:00～20:00

場所：長崎大学医学部 良順会館2階ボードインホール  
長崎市坂本1丁目12-4

主催／核兵器廃絶長崎連絡協議会（PCU-NC）

〒852-8521 長崎市文教町1-14

TEL：095-819-2255 FAX：095-819-2165

URL：<http://www.recna.nagasaki-u.ac.jp/recna/pcu>

共催：長崎大学核兵器廃絶研究センター（RECNA）／ノーチラス研究所

核兵器廃絶  
長崎連絡協議会  
PCU-Nagasaki Council

RECNA  
長崎大学核兵器廃絶研究センター



NAUTILUS INSTITUTE  
FOR SECURITY AND SUSTAINABILITY

# 北東アジアにおける核テロリズムの脅威

## パネリストプロフィール



### ユンスー・ハング

韓国原子力研究所／主席研究員(韓国)

原子力・核不拡散分野での韓国における権威で、元韓国核不拡散・管理研究所専務理事、および韓国における使用済み燃料管理や放射線防護分野で国際的な活躍を続けている。



### 板橋 功

公益財団法人 公共政策調査会  
研究センター長 (日本)

1987年慶應義塾大学大学院経営管理研究科修士課程修了後、社会学研究所に入所。1992年財団法人公共政策調査会へ出向、分析主幹、研究室長を経て、2015年7月より現職。政府核セキュリティに関する検討会委員を務める。主な著書は、『フラット化社会における自由と安全』(高学社、2014年:共著)、『社会の安全と法』(立花書房、2013年:共著)



### ピーター・ヘイズ

ノーチラス研究所 (米国)

ノーチラス研究所の創設者であり、現在はシドニー大学国際安全保障研究センター教授である。専門は、安全保障、環境、エネルギー政策分野をまたぐ学際的研究である。主な著書に「東アジアにおける安全保障と市民社会：外交政策と朝鮮半島」

(2015、OPEN BOOK PUBLISHERS)。「北東アジアにおける平和と安全保障に関する専門家パネル」メンバー。



### フィ・ジャン

ハーバード大学ケネディスクール  
上級研究員 (中国)

中国の原子力政策、保障措置、核不拡散、核燃料サイクル政策、核軍縮の検証技術や核物質管理の専門家。現在米国ハーバード大学にて研究活動を行っている。



### 鈴木 達治郎

RECNAセンター長・教授

モデレーター

1951年生まれ。75年東京大学工学部原子力工学科卒。78年マサチューセッツ工科大学プログラム修士修了。工学博士(東京大学)。2010年1月より2014年3月まで内閣府原子力委員会委員長代理を務めた。核兵器と戦争の根絶を目指す科学者集団バグウォッシュ会議評議員として活動を行っている。



## 会場アクセス

会場：長崎大学医学部 良順会館 2階ボードインホール

長崎市坂本1丁目12-4

